

学校施設整備基本構想

計画の目的、性質、施設を考えるにあたっての条件

I 目的と位置付け

- 1 目的と背景
- 2 基本構想・基本計画の位置づけ

II 条件整理

- 1 学年の区切り(4-3-2制)
- 2 校地にあたっての条件
- 3 通学方法

学校施設の方針
(こんな学校施設にしたい)

コンセプト

【相良地域】
夢につながる みんなの学校

【榛原地域】
地域と共にくわくわく学び・体験できる みんなの学校

整備方針

- 1 ワタシをつくる
- ワタシの居場所
 - ワタシが学ぶ

- 2 つながる「人・学び・体験」
- 9年間がつながる
 - 教職員がつながる
 - 地域や社会とつながる

- 3 ささえる
- 安全と安心
 - 長期的な使用
 - 環境にやさしい

エリアと動線の考え方

学校施設整備基本計画

整備の基本的な考え方を具体的にしたもの

- **ワタシの居場所**
- ・学校に行きたいと思える魅力ある施設
 - ・明るく開放的な空間・木材の積極的な活用
 - ・誰もが健やかに生活できる環境
- **ワタシが学ぶ**
- ・子どもが快適に学べる空間
 - ・いつでもどこでも学べる
 - ・多様な子どもへの対応

- **9年間がつながる**
- ・多様な学びができる柔軟な学習空間
 - ・9年間の教育活動が充実する環境
 - ・子ども同士の交流がしやすい環境
- **教職員がつながる**
- ・コミュニケーションが取りやすく、効果的・効率的な執務環境
 - ・働きやすい環境の整備
- **地域や社会とつながる**
- ・地域と共に子どもを育てることができる環境
 - ・地域と共にある学校としてみんなが利用できる環境(複合化・多機能化)
 - ・国際社会に触れる機会やグローバルなコミュニケーションができる環境
 - ・地域性を活かした施設

- **安全と安心**
- ・誰もが安心して過ごせる安全な施設
 - ・地域の災害拠点となる施設
- **長期的な使用**
- ・維持管理しやすく長期的に使用できる施設
 - ・将来的な技術革新や社会・学びの変化に柔軟に対応できる施設
- **環境に優しい**
- ・脱炭素社会に配慮した環境にやさしい施設

各部屋・運動施設・屋外施設・設備の考え方

相良地域・榛原地域の計画

- 1 学校敷地(計画学級数・施設の規模・計画敷地)
- 2 開校目標年度
- 3 造成と配置
- 4 平面・断面計画
- 5 建替工程の検討(榛原のみ)
- 6 スケジュールと事業費
- 7 開校に向けて

● 推進に向けて